

No.114 会津支部だより

発行者 高田 直樹
担当者 阿部 浩子

公益事業報告

臨床検査業務見学会

平成 29 年度臨床検査業務見学会が、7 月 22 日（土）に会津医療センターを会場に行われました。

今年度は会津若松市内の 4 つの高校より、2、3 年生、計 12 名の参加がありました。

まず初めに新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科の川村宏樹先生より「臨床検査とは」「医療における臨床検査技師の役割」「検査技師になるためには」と臨床検査業務及び臨床検査技師についての説明がありました。また、先生の専門である免疫について、そのしくみや免疫を利用した測定法などを動画も交えてお話されました。新潟医療福祉大学の特色や学生生活の様子についても詳しく話してくださいました。



次いでこの 4 月に仕事に就いた会津中央病院の齋藤美菜さんと石井和泉さんが、それぞれの出身学校のカリキュラムや特色、取得できる資格について、会津に就職した理由、興味を持っている生理検査のこと、今後の抱負などを話してくださいました。齋藤さんは高校生の時にこの見学会に参加したそうです。

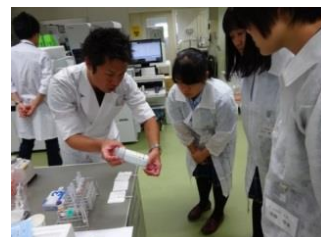


続く見学では 4 つのグループに分かれて、「血液・一般」「化学・免疫」「輸血」「微生物」「生理」「病理」の 6 セクションを回りました。

「血液・一般検査」では血液像を顕微鏡で観察したり尿検査を行ったり、「微生物検査」では実際に発育した菌を見ました。「化学・免疫検査」では機械を使って血糖の測定を、「輸血検査」では実際に血液型の判定を行いました。「生理検査」ではプローブを手にして腹部エコー、心エコーを行いました。

「病理検査」では、組織から標本作製と観察、診断までの流れの説明がありました。病理医の北條洋先生の熱心な説明に興味をひかれたようでした。

見学会終了後のアンケートでは、今回の見学会についてほぼ全員が良かったと回答しており、8 名が臨床検査技師を目指したいと答えています。エコーを自分でやったことや、病理医の話、組織にさわったこと、病理や血液の標本を見たことが印象に残ったようです。



公益事業報告

喜多方市民健康祭

第42回きらり喜多方市民健康祭が平成29年11月12日(日)、喜多方市押切川公園体育館で開催されました。

技師会会津支部では例年どおり肺年齢測定ブースを担当しました。測定のほか準備や案内、誘導、検査結果の説明などを手分けして行いました。途中、機器の破損というトラブルもありましたが、終了時間までに200名弱の測定を行いました。

会場には肺年齢の他にも血管年齢、肥満度測定、血液サラサラ測定、インボディ測定、姿勢のゆがみ・筋肉測定の健康チェックコーナーや健康に関する展示物、また健康や栄養相談なども行われており、大勢の人が集まっていました。喜多方市の健康事業に対する姿勢がうかがえました。

機械の手配、準備等してくださった(株)三陽の皆様、ありがとうございました。また、お手伝いくださったのは次の方々です。(順不同、敬称略)

大橋良美・武田里彩(竹田総合病院)、小林修一(坂下厚生総合病院)、長嶺忍(会津中央病院)、橋本修也・箭内知暉(有隣病院)、杉原正人(会津西病院)、瀧澤宏子・阿部浩子(会津医療センター)



学術講演会

会津支部学術講演会が、平成30年2月7日(水)に竹田総合病院竹田ホールで開催されました。

講師に竹田総合病院内科科長の神本昌宗先生をお迎えし、「最近の糖尿病診療について」という題でご講演いただきました。

実際に先生が患者さんに説明している内容から、変化してきている診断基準、最近の治療法のこと、また最新の研究のことなどをお話していただきました。リブレProを使った実際の血糖測定の結果を見せていただいたことは、印象に残りました。

死亡率の低下には血糖だけではなく、血圧、コレステロールなどその他の因子のコントロールも必要であるとお話されました。